

# ユーザビリティ向上のためのユーザビリティ評価の基礎

## ユーザー視点で製品開発を行うための課題発見手法を修得 【演習付】

日時  
2017年 11月2日 (木)  
10:30 ~ 17:00

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見 1 - 5 - 1)

講師 パナソニック株式会社 プロダクト解析センター  
ユーザビリティソリューション部 東 章子氏

### 税込受講料

1名 48,600円  
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
JR中央線 (緩行線)  
地下鉄東西線 (A5出口)  
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)  
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

### <お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

主な受講対象：商品企画、研究開発、技術、品質、デザイン、ソフト設計などでユーザビリティ評価に携わっている方、これから担当する方  
受講に当たっての必要な予備知識：とくに必要ありません  
このセミナーを受講するとどこまでの知識を修得できるか：ユーザー中心設計の概念、ユーザビリティ評価の基本的な考え方・留意点と評価手法の特長を習得

商品やサービスなどのモノづくりに、ユーザー (人間) 中心設計が重要なのはなぜ? ユーザー中心設計が重要なのはわかるけれど、どのように進めていいかわからない? など、お困りではありませんか?。本セミナーでは、ユーザー中心設計とユーザビリティの考え方のほか、ユーザビリティ向上のための課題発見手法をメインテーマとして基本的なユーザビリティ評価の計画から分析までの流れとポイント解説と、ユーザビリティ評価時にまちがいがしやすい事象を、演習で体験いただきます。

### 内容

- ・ユーザー中心設計とユーザビリティ
- ・ユーザーニーズ・課題発見を引き出す、ユーザビリティ評価の基本
  1. ユーザビリティ評価手法と特長
  2. ユーザビリティ評価の基本的な流れとポイント
    - a. 評価設計
    - b. 準備
    - c. 予備評価
    - d. モニター評価
    - e. 分析・まとめ
    - f. 各ステップの配慮事項
- ・演習 ユーザビリティ評価時にまちがいがしやすい事象
  1. モニターリクルート時のユーザー属性設定
  2. 評価時のユーザーの行動把握
- ・事例紹介
  - ユーザー中心設計の実践による商品化事例
  - ユーザビリティ評価の応用 わかりやすさの可視化・定量化事例

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問について解説致します】

内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承ください。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 ユーザビリティ向上のためのユーザビリティ評価の基礎

セミナーコード

1101-171102

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/11/2 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	( )
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				